

待降節 2021年



親愛なる姉妹の皆さま

「待降節」という言葉はラテン語のアドベントスに由来し、「来る」という意味です。主の再臨の準備の時です。待降節は、クリスマスの準備期間として4週間に短縮されますが、本当の待降節には時間に制限がなく、一年中そして毎日のものです。それは魂に対しての私たちのとるべき態度です。

この時期の最も大切なものの中で、**希望**は際立っており、あらゆる意味でのマンネリ化、落胆、倦怠感、または短気になったときの素晴らしい刺激になります。私たちは皆、希望を切実に求めています。それがなければ、生き続けることは不可能です。多くの世代の信徒を活気づけてきたこの希望は、待降節ごとに特別な方法で私たちを呼びかけます。

イエスはすべての人類と私たち一人ひとりが前向きに歩いていくための最大の希望です。イエスは毎日み言葉、共同体、秘跡、貧しい人びと、特定の出来事、日々の十字架、など種々の方法でさまざまなシンボルを通して私たちに近づいています。イエスは私たちの歩みの中で起き上がれなくなった時、私たちを見い出してくれます。最初の日曜日の福音書においては、「起きて、頭を上げなさい、解放の時が近づいています！」という力強い言葉で励まされます。

この季節の聖書は、私たちに希望について語るとき、待降節における大きな希望のイメージを私たちに示します。

最初は洗礼者ヨハネ、主の先駆者です。彼は結果がどうであろうと、悔い改めの生活様式と説教を通して、キリストの再臨への希望をもって道を開きました。

しかしながら、待降節の希望の素晴らしい模範は**マリアとヨセフ**です。

ダビデの家に属し、その血筋であり、ガリラヤのナザレ町の出身の**ヨセフ**は、マリアといいなずけでした。(ルカ、2,4) 彼は、神から託された役割を果たすために神に大いなる信頼をよせなければならなかった、正直で希望の人でした。天使が夢の中で述べたように、マリアから生まれる子は、聖霊によって身ごもり、イエスと呼ばれるでしょう。それはイエスが民を罪から救うお方だからです。ヨセフは自分の使命にどんなに困難であっても、常に神を信頼した人としてご自分を示します。

マリアには多くの名誉ある称号がありますが、彼女の特別な名前は「希望の聖母」です。

私たちの人生の真の星は聖なる生活を送ってきた人びとです。彼らは希望の光です。確かに、イエス・キリストは真の光です。しかしながら、イエスの光に到達するためには、私たちにも彼らの光が必要です。イエスの光に照らされた人びとは私たちの道案内をしてくれる人たちです。マリア以外の誰が私たちの希望の星になることができるでしょうか。彼女の“はい”によって、彼女は私たちの世界に神への扉を開きました。彼女は契約の生きた聖櫃となり、そこで神は受肉しました。私たちの一人となり、私たちの間に宿られました。（ヨハネ 1,14 参照）

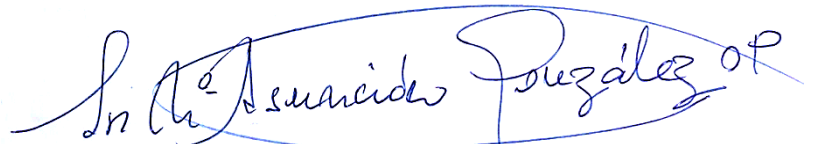
神の母になるための招きが彼女に示されたとき、自分がどのようにその役割を果たすことができるのか疑問に思いました。しかしながら、彼女は決して疑いませんでした。彼女は主によって言われたことが実現すると信じていたからです。

待降節のこの聖なる時期における希望の真の模範者として、マリアとヨセフを見据えましょう。喜んで生きてまいりましょう。

クリスマスの日の飼い葉桶の前で、世界へ希望を運ぶ人となれるよう私たちの決意を新たにしましょう。

待降節と主の降誕おめでとうございます。

Un fraternal abrazo y mi oración,

A handwritten signature in blue ink, reading "Sor Mª Asunción González O.P.", enclosed within a blue oval. The signature is fluid and cursive.

Sor Mª Asunción González, O.P.
Priora General